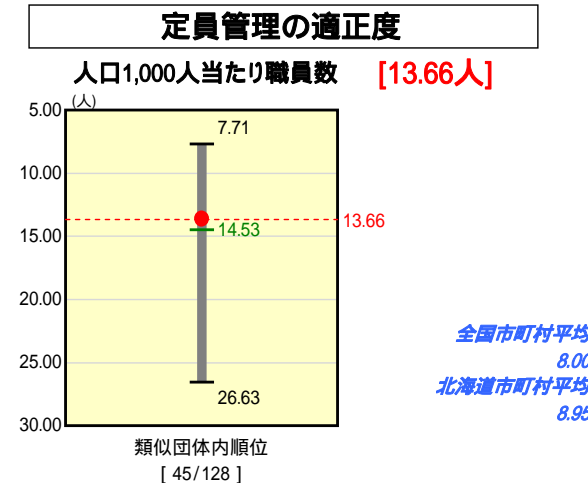
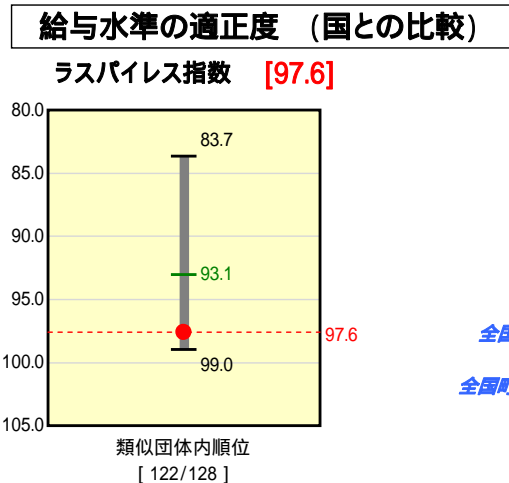
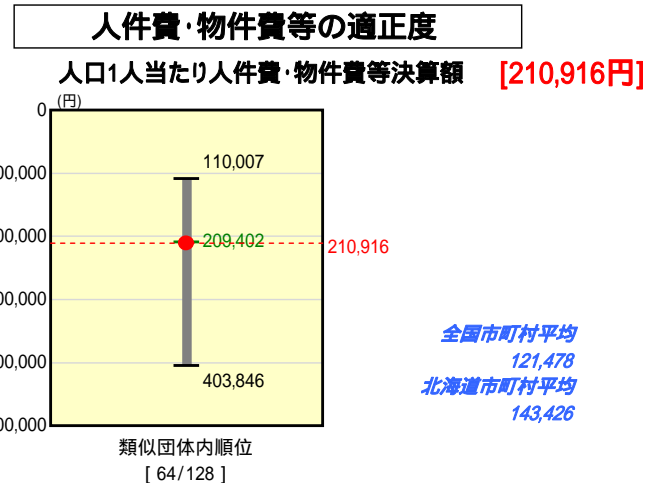
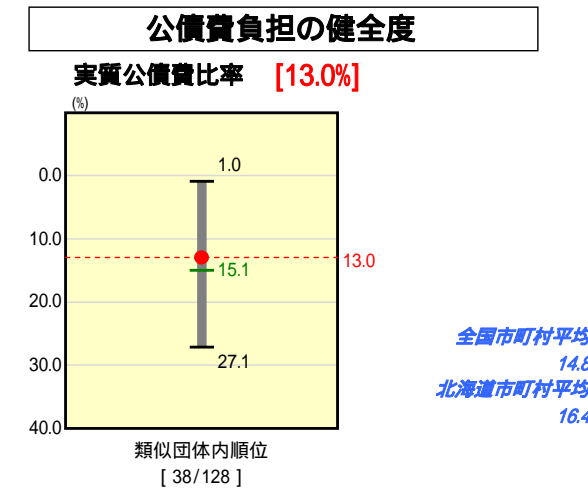
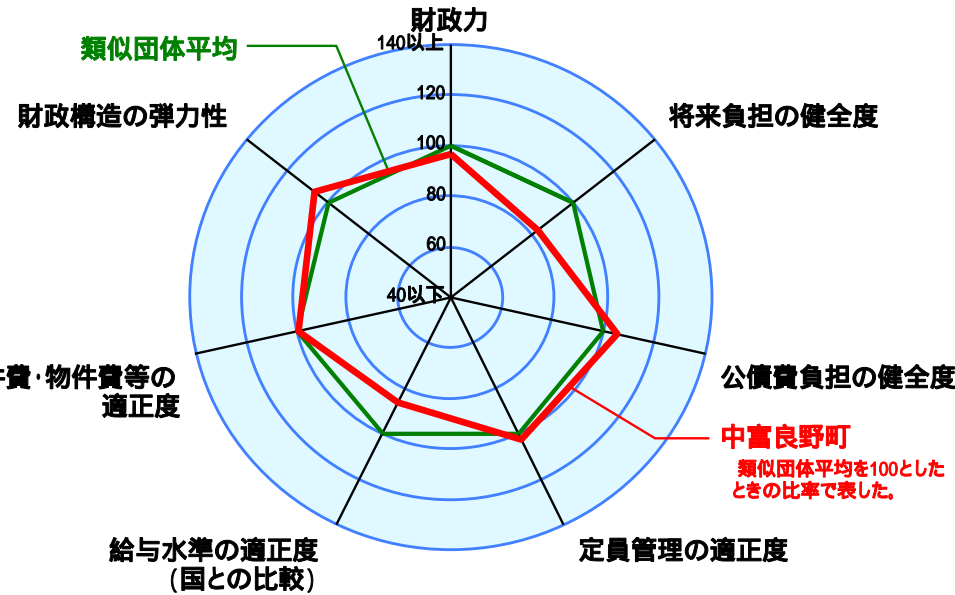
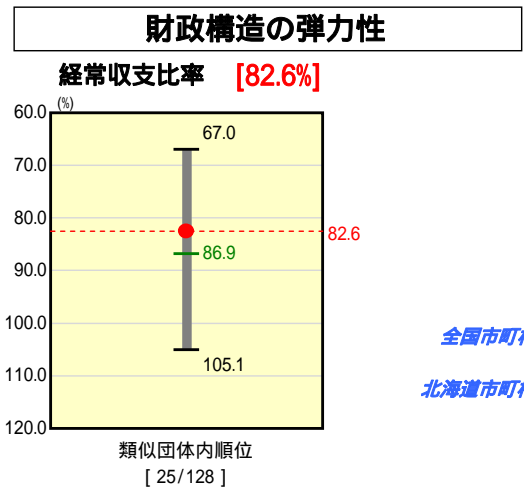
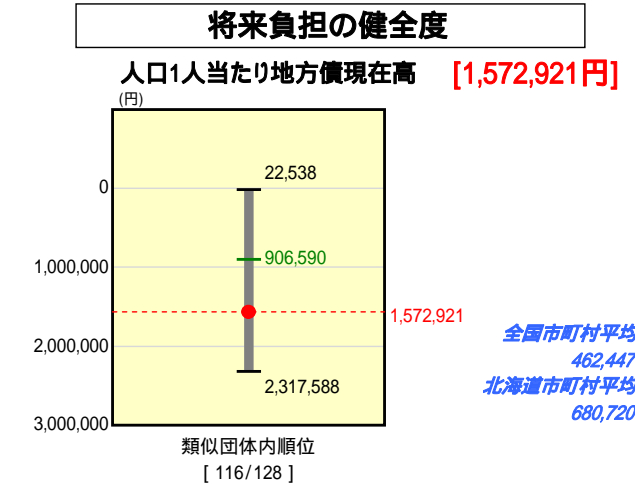
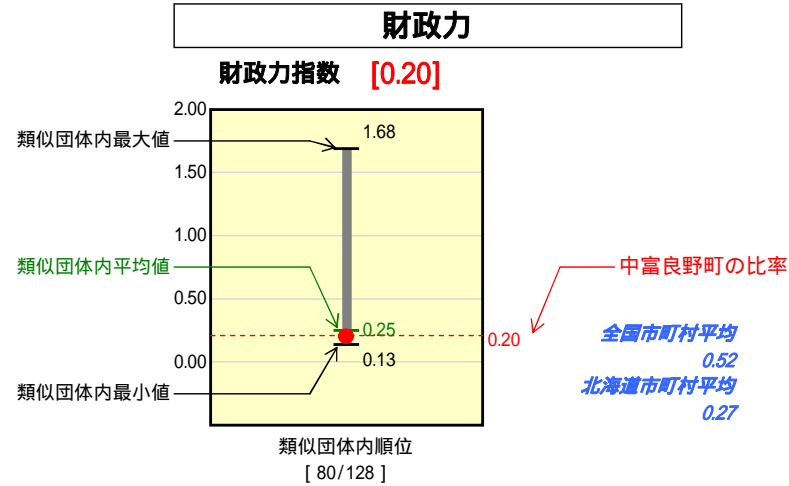


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 中富良野町

人口	5,782人	(H18.3.31現在)
面積	108.70	km ²
歳入総額	4,461,975	千円
歳出総額	4,367,781	千円
実質収支	94,194	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
人口の減少や高齢者の増加に加え、当町の主力産業である農業の不振等により、0.20と類似団体平均値を下回っている。今後も第4期まちづくり総合計画を基本に、事務事業の見直し・補助金等整理合理化・職員定数の見直し等、限られた財源のなか、徹底した費用対効果の見直しと経費の節減を図る。

経常収支比率
類似団体平均を下回っているが、公債費の増加等により比率は悪化傾向である。人件費の抑制、義務的経費の削減に努め、現在の水準を維持する。

ラスパイレス指数
以前より人事院勧告に基づき給与を削減してきたため、ラスパイレス指数は97.6と国の給与水準に近い数値となっている。今後も人事院勧告に準じ給与の適正化に努めていく。各種手当では管理職手当を定率から定額へと見直し、削減に努める。

実質公債費比率
第4期まちづくり総合計画のもと、大型建設事業については取捨選択し、適切な事業実施等により13.0%と類似団体平均を下回っている。一般廃棄物最終処分場、総合スポーツセンター等の起債償還が開始されたため、元利償還金は平

成19年度にピークを迎えるが、今後減少に転ずると見込まれる。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均と比較して町債残高が大幅に上回っているが、一般廃棄物最終処分場、総合スポーツセンター等の大型建設事業によるものが大きい。今後は大型建設事業の予定が無いため、国営事業負担金償還等の事業に絞りながら、町債残高の抑制に努めていく。

人口1,000人当たり職員数
過去からの新規採用抑制策・機構改革の実施等により、類似団体平均を下回っている。今後も定員適正化計画に基づき定年退職者の不補充等により職員数を抑制し、より適切な定員管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人口1人当たりの金額は類似団体平均とほぼ同じであるが、今後民間で実施可能な部分については、指定管理者制度の導入などにより委託化を進め、コスト削減を図っていく方針である。